

『Mind Charging』

第 50 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 6 月 5 日

カール・ルイスの名言



It's all about the journey, not the outcome.

すべては過程だ。結果ではない。

最近では『ウサイン・ボルト選手』が陸上界のスーパースターとして有名ですが、カール・ルイスは当時でいう陸上界のスーパースターとして超有名選手でした。みなさんの保護者の方は、よくご存じだと思います。オリンピックと世界選手権で通算 20 個のメダルを獲得し、そのうち 17 個が金メダルです。この信じられないほどの経歴はまさに『レジェンド』と呼ぶべき存在です。

そんな偉大な『結果』を残した彼が『すべては過程だ』と言うのには、2 つの理由があると考えます。1 つは当然ですが、1 番になれる人は一人だけですので、目標に向かって努力したことや、その途中で今後の人生の糧となる『経験』を積むことができるので、それが結果以上の自分の財産になるということだと思います。そしてもう 1 つは、結果が出るような過程を踏まなければ結果など簡単に出るものではない。『計画・過程(努力)・自信・当日の環境やコンディション(運)』の全てが最高水準でなければ、ここまでの結果を出すことは難しいし、『そこ(結果を出すこと)にこだわって私はやってきました』という彼のメッセージではないかと思います。

私もスポーツの世界で生きてきた中で、『過程の重要性』は理解しているつもりですが、誰もが認めるような素晴らしい過程を経て挑んだからといって、必ず結果が出るわけではないのが『勝負の世界』のシビアなところだと思っています。それと同時に、もちろん良い結果を残すことは素晴らしいですし、それに越したことはないとは思いますが、結果とは『答え』のひとつであり、その答えについては正解・不正解は存在しないと思っています。私たちは生きている以上、いくらでもチャレンジできますし、いくらでも努力し、進化することができます。今の時点で悪い結果だったと感じていても、その悔しさを力に変えて次のチャレンジが成功すれば、それは紛れもなく『正解』なのです。ゴールを決めず、チャレンジを続けましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

フレデリック・カールトン・ルイス(Frederick Carlton "Carl" Lewis, 1961 年 7 月 1 日 -)は、アメリカ合衆国の男子元陸上競技選手。身長 188cm・体重 88kg の体躯を駆って、国際陸上競技連盟の世界順位に初めて載った 1979 年から 1996 年のオリンピック終了までに、10 のオリンピックメダル(うち 9 つが金メダル)と 10 の世界選手権メダル(うち 8 つが金メダル)を獲得した。(Wikipedia 参照)